

あすから③面に連載

世は占いブーム。ワラに意味で、この占いを利用もすがるといいますが、人している向きも多いようですね。具合が悪くなると、何す。身の上、身の下はもちかに頼りたくなるものでろんのこと、会社の人事問題から経営相談、ときには社名や商品のネーミングまでも。

本社は、そうした占いの

竹村亞希子の

聞いていとも



窓口から見た人生の泣き笑い種々相を、あす三日から③面に連載します。筆者は「占いの玉手箱」主宰の竹村亞希子さん(写真)。軽妙なタッチであなたをウーンとうならせるはずです。所ゆきよしさんのイラストとともにお楽しみください。

竹村亞希子さん

小学校二年生で姓名判断の本をすべてマスターし、超能力ぶりを発揮。その後、大仙冥想という

仙人から易学、人相、手相、姓名学、命宮学を学び、本格的に占いの世界に入る。T・P・Oに依じて透明人間にもなれるという現代の女仙人。